



撮影者 撮影日 撮影場所



ドクターイエローの通過
撮影者 棚田修さん 撮影日 平成27年8月
撮影場所 JR三原駅



まつりの朝
撮影者 森平康則さん 撮影日 平成27年8月
撮影場所 本町一丁目



雨上がりの瀑雪の滝
撮影者 水野夏子さん 撮影日 平成27年8月
撮影場所 本郷町船木



集会
撮影者 中原五三さん 撮影日 平成27年8月
撮影場所 中之町三丁目

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 7日(水)(必着)まで
応募資格 市内在住・在勤・在学の人
募集枚数 1人1枚
選考 総務広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真(L判サイズ)か写真データと、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007) somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲顔の大きさほどある大きな桃に興味津々な子どもたち

「自然に囲まれた暮らしを体験し、感性豊かにたくましく育ってほしい」。そんな思いから結成された大和町農山村体験推進協議会。「自然の中で過ごすことが減った街の子どもたちにも、楽しみながら学べる機会を提供したい」と、昨年12月の発足から体験内容の検討や受け入れ先農家の募集などの準備を進めてきました。

自然の中で子どもに体験して学んでほしい

先月には初めての農山村ホームステイを実施し、市内の小中学生23人を受け入れました。児童らは、民家に泊まりながら、特産の桃の収穫や棲真寺での座禅、乗馬などを体験。中には野菜を収穫するのは初めてという児童もいました。

「自然に触れることで、子どもは自分で考えて行動するようになる。地域の人と交流することで、人間関係の築き方も身に付く」と副会長で元小学校長の計田春樹さん。最初は受け入れを不安に思っていた農家も、「子どもが来ると元気をもらえると喜んでくれる」と言います。少子化で子どもが減り、子どもを見る機会が少なくなったといわれる市内の農山村地域。協議会のメンバーは「子どもは体験を通して学び、住民は子どもから元気をもらえる。今後は大和町だけでなく、市内全域でこういう体験活動ができるようにしていきたい」と意気込みます。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



大和町農山村体験推進協議会
会長 池田雅博さん
副会長 計田春樹さん